



尼崎双星高校 図書館

★7月7日より **夏の特別貸出** はじめます!

★一人10冊まで ★返却日:9月1日

夏休み中の図書館開館日 ★7月21日(木)~29日(金)の土・日除く7日間
開館時間:9:00~17:00 ★8月22日(月)~30日(火)の土・日除く7日間

読書の夏!
この夏、君は
心に残る本と出会う!

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる 読書感想文募集

ぜひこの夏、すてきな本に出会い、

自分の心に残った感動を読書感想文に表現してみよう。

本を読んで、何を感じ、何を考え、自分の心がどう動いたか?

それを自分の言葉で生き生きと表現すれば、最高の読書感想文になります。

ぜひ、チャレンジしてください! 提出された感想文の中から優秀作品(学校代表)を選んで第68回青少年読書感想文全国コンクール(阪神高校支部)に応募します。

すばらしい作品を期待しています。*2000字原稿用紙・「HOW TO 読書感想文」は配布します。

阪神高校支部の応募要項

- 対象図書: 自由図書(教科書、副読本、雑誌、パンフレット類、日本語以外の図書は対象外)
: 課題図書(第68回青少年読書感想文全国コンクール: 高等学校の部)

	書名	著者名	出版社	本体価格
1	その扉をたたく音	瀬尾まいこ	集英社	1540円
2	建築家になりたい君へ	隈研吾	河出書房新社	1430円
3	クジラの骨と僕らの未来	佐藤勝彦	理論社	1540円

- 字数 2000字以内(題名・氏名は字数に入れない)

- 校内提出 **9月1日(水)**(2学期始業式の日) →→ 学校代表を応募します。



『その扉をたたく音』

瀬尾まいこ/著
集英社
29歳、無職。夢はミュージシャン。人生に行き詰まっていた青年と、老人ホームで出会った「神様」との奇跡の夏が始まる。

『建築家になりたい君へ』

隈研吾/著
河出書房新社
「ぼろい家」に育ち、建築家を夢見てアフリカやアメリカへ。難題だらけの仕事にどう挑むのか。日本を代表する建築家が今伝えたいメッセージ。

『クジラの骨と僕らの未来』

佐藤勝彦/著
理論社
骨格に興味を持ち、ペットの墓あばきから始まった少年の好奇心。ついに哺乳類最大のクジラの博士になるまで生き生きと描く。

★雑誌・付録 プレゼント:申し込み → 7月11日(月)放課後 図書館に来てください。

第55回夏休みの本
夏休みの本
【緑陰図書】
高等学校の部
全国学校図書館協議会 選定

ぼくたちのスープ運動：小さな思いやりが世界を変える！

●高等学校の部
病気療養中の少年ジョージンは、一家で引っ越してきた町で、同学年のウィルが嫌がらせをしたホームレスのデントの前に、ママの作ったスープを置いた。それは入院中に病室で知り合った少女リオとの約束からだった。
約束とはミツヴァー、すなわち人にいいことをすること。その行動はインターネットを通して広がり「スープ運動」へと発展し……。小さな思いやりが少しずつ人の心を変え、世界を変えていく感動の物語。

渡谷弘子・訳
評論社
定価1,760円(税込)
ISBN978-4-566-02473-1

13枚のピンぼけ写真

●高等学校の部
第一次世界大戦下の北イタリア。少女イオランダの父と兄は戦地に赴き、母はスパイの疑いをかけられ逮捕されてしまう。幼い妹とともに故郷を離れ、母から渡されたメモを頼りにアデーレおぼさんのもとに身を寄せるが……。
家族の問題を解きほぐし、生きる力を自分の手でつかみとっていく姿が感動を呼ぶ。章ごとに挟まれる「ピンぼけ写真」に画像はない、そこに添えられた説明文に想像力をかき立てられる。

キアラ・カルミネーティ・作
関口英子・訳 古山 拓・絵
岩波書店
定価1,870円(税込)
ISBN978-4-00-116036-9

蛍と月の真ん中で

●高等学校の部
写真学科のある東京の大学に進学して3年。親しかった友人の急変でお金も居場所もなくした匠海は、昔父が蛍の写真を撮った長野県辰野にやって来た。
蛍に導かれ一人の女性、明里と出会ったことをきっかけにしばらく滞在することになり、好きな写真を撮りながら人々と交流する日々の暮らしの中で多くのことを学んでいく。蛍と月の真ん中で匠海は何を見、何を感じたのか？自分探しの爽やかな青春小説。

河邊 徹・著
ポプラ社
定価1,760円(税込)
ISBN978-4-591-17170-7

四角六面：キューブとわたし

●高等学校の部
1980年にハンガリーで登場し、世界の7人に1人が遊んだと言われるルービックキューブ。今や世界大会も開催されている。その製作者エルノー・ルービク（自らを発見者という）の自伝である。
自身の生い立ち、興味深い幾何学問題との出会い、キューブ製作過程以外にも、創造性、教育、建築、遊び心、美など、自由に話題が広がっていく。まるでキューブの各面を合わせて行くのと同じような感覚で読み進められる。

エルノー・ルービク・著
久保陽子・訳
光文社
定価2,090円(税込)
ISBN978-4-334-96254-8

さばの缶づめ、宇宙へいく：鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち

●高等学校の部
水産高校で学ぶ生徒たちが14年の歳月をかけて夢をつなぎ、宇宙食としての「さばの缶づめ」を作り上げ、宇宙飛行士の野口聡一さんが宇宙で実際に食べるまでを追ったノンフィクション。
宇宙への挑戦は順調に進んだわけではない。生徒の活動を見守り続けた小坂教諭、HACCP認証を導いた高島氏、地域の支え、JAXAの専門家の助言もあって実現に結び付いた。学ぶとはどういうことか、学校はどうあるべきかも考えさせられる。

小坂康之、林 公代・著
イースト・プレス
定価1,650円(税込)
ISBN978-4-7816-2042-8

7.5グラムの奇跡

●高等学校の部
7.5グラムとは眼球の重さのことである。目で物を見る。日頃ごく当たり前にしていることが、実は奇跡と言える行為だとしたら……。主人公・野宮恭一は、新人の視能訓練士。日々、眼科医院のスタッフや患者と接するうちに「見える」ことの大切さに気づき、一人前になっていく姿が5つの短編として描かれ、一連の成長物語となっている。
水墨画家でもある著者の文章は、心でものを見ているようで細やかに巧みである。

砥上裕将・著
講談社
定価1,705円(税込)
ISBN978-4-06-524623-8

難民に希望の光を 真の国際人緒方貞子の生き方

●高等学校の部
国連難民高等弁務官として10年にわたって難民のために全力を注いだ緒方貞子。UNHCR 退任後の緒方にパーソナル・アシスタントとして寄り添った著者が綴ったノンフィクション。
前例にとられず「難民の命を守る」基本原則を徹底した意思と行動力、正しい判断を裏付ける「現場主義」の姿勢は、世界情勢の先が見えない昨今、中高生の指針となる。「難民」について深く知ることで、できることは何かが見えてくる。

中村 恵・著
平凡社
定価1,870円(税込)
ISBN978-4-582-83893-0

海獣学者、クジラを解剖する：海の哺乳類の死体が教えてくれること

●高等学校の部
日本では、年間に300頭余りのクジラやイルカが打ち上げられている。急に解剖して各種調査を行い、将来の骨格標本を確保するために土に埋める過程などを具体的に紹介している。
打ち上げられたクジラがなぜ死んだのか、なぜこの場所に漂着したのかなどの視点が、野生の哺乳類の死因を究明し、生育環境を推測する手がかかりとなる。著者は、海洋プラスチックが海の哺乳類や生物全体に及ぼす悪影響に警鐘を鳴らす。

田島木綿子・著
山と溪谷社
定価1,870円(税込)
ISBN978-4-635-06295-4

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ 新着図書案内 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★

書名	著者	出版社	分類
ミレニアム・ファルコンを作った男	成田昌隆	光文社	映画
虚構の森	田中淳夫	新泉社	林業
FREEDOM プロサーファー五十嵐カノア	五十嵐カノア	KADOKAWA	水上競技
ハカロレアの哲学 フランスの高校生はなぜ哲学が必修なのか？	坂本尚志	日本実業出版社	西洋哲学
「平和宣言」全文を読む ヒロシマの祈り	早稲田大学出版部	早稲田大学出版部	国際問題
小説みたいに楽しく読める生命科学講義	石浦章一	羊土社	生命科学
千年の読書 人生を変える本との出会い	三砂慶明	誠文堂新光社	読書
生きてやろうじゃないの！ 79歳・母と息子の震災日記	武澤順子	青志社	社会福祉
作家たちの17歳	千葉俊二	岩波書店	日本文学
ほんとうにすごい仏像図鑑 不思議・神秘の謎を解き明かす	長谷法寿	朝日新聞出版	仏像
土偶を読む 130年間解かれなかった縄文神話の謎	竹倉史人	晶文社	日本史
もし、水がなくなるとどうなるの？	C・シュタイライン	西村書店	河海工学